

せいか 議会だより

2020年2月1日発行

12月会議 No.167



事務事業評価の改善意見の反映を求める5 ページ

まなび・生かす14 ページ

ぎかい まちカフェ16~17 ページ



裏面に撮影者
"ひとこと"



令和元年度 定例会 12月会議

本会議

概要

12月会議は、12月5日から20日までの16日間開催しました。町長提出議案は14件で、内1件は取り下げられ、その他の議案は慎重審議の結果、原案通り同意、可決しました。また、委員会提案で委員会条例改正を可決、議員提案で意見書1件を可決、請願1件を不採択としました。

請願

精華町の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

○緊急性や重要性及び財政事情など勘案し、財源の裏付けがない中で実施を求めることは、現時点で困難である。

賛成討論

○教育環境をよくしたいのは住民を含む児童生徒や教育現場関係者の切実な願いであり、反対する理由がない。

○洋式トイレはほぼすべての家庭で使用。和式は実態に合わない。専科教員は質の高い教育ができる。住民の声を聞く必要がある。

○住民の意見を受け止めたい。不採択は必要性を否定してしまう。住民の願いをくみ取り議論する必要がある。

【賛成少数不採択】

反対討論

○学校では教材備品不足、老朽化、管理備品更新遅れ等があり、優先順位を考え体育館エアコンを含む請願に反対。

○請願事項について町長は所信表明。議会はすでに行動をとっており、行政も優先順位を決めて取り組んでいる。

元年度補正

一般会計

【概要】

11事業経費
1億5353万円増額

問 ふるさと納税を推進するためのコンテンツ作成をなぜ業務委託するのか。

答 返礼品のキャラクターグッズや、デザイン・デジタルデータの原画作成を外部委託する。

問 債務負担行為700万円の道路維持管理事業とは何か。

答 緊急対応が必要で、住民などからの修繕依頼

条例制定

会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する

【概要】

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により会計年度任用職員の給与、給付に關し必要な事項を定める

問 年度ごとに切り替わるとボーナスや年休の繰越しは可能か。

答 ボーナスや休暇な

ど不利益がないように運用したい。

問 常勤初任給を上限とする話もあるが、同一労働同一賃金の考え方はあるのか。

答 臨時職員の給与を会計年度任用職員の給与に置き換え、現状を下回ることはない。

問 常勤職員に定年制があるのに対し、会計年度任用職員は。

答 人材不足の状況を考慮して一定の基準を整理する。

問 福利厚生は正職員と同じ内容を適用か。

答 基本的には正職員と同じである。

【全員賛成可決】

粕田駅周辺整備

最終段階に

常任委員会

総務教育

精華町の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

〈請願者へ〉

問 洋式トイレについては、現場の生の声を聞いているのか。

答 低学年は和式のトイレに慣れていない。我慢をしていると聞く。

問 専科教員の配置については、行政に現状を聞いたことがあるか。

答 町からは聞いていない。

〈行政へ〉

問 体育館のクーラーは、優先順位、費用面などをどう考えているのか。

答 考えてはいるが、他との優先順位をつけている。

【賛成・反対討論あり】
【賛成少数不採択】

地方公務員法及び地方自治法の一部改正による会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

問 正規職員を減らし、任用職員を増やすのか。

答 職員枠も増やしており、必要な人材を任用する。

問 会計年度任用職員は、退職手当や給与が下がることはないのか。

答 具体的な数字は、職員組合と協議している。

【全員賛成可決】



町立中学校コンピュータ備品の取得

問 今回購入の主なものは。

答 タブレットが中心で、国の動向を見ながら検討して、導入の計画を立てた。

【全員賛成可決】

予算決算

元年度補正

一般会計

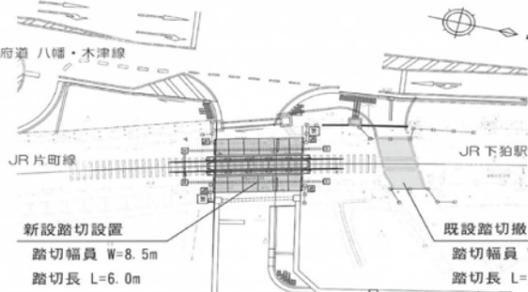
問 内部通報の窓口開設はどのようにするか。

答 総務課人事係の窓口と、外部の弁護士の窓口の両方を設置して、使い方を明文化する。

問 内部通報者への保護をどうするか。

答 通報者が不利益を被らない仕組みをつくる。

JR下粕田踏切移設



建設産業

粕田駅東特定土地区画整理事業区域と、府道八幡・木津線とのアクセス道路整備の基本協定の締結

問 「委託契約」でなく、「基本協定」としたのはなぜか。

答 部分的な工事の委託契約ではなく、3年間の工事全体を見すえた委託契約として「基本協定」とした。

【全員賛成可決】

民生環境

証明書等自動交付機を新機種に交換、印鑑登録証の使用がなくなることに伴う条例改正

問 印鑑証明書発行への影響は。

答 下粕田郵便局は今まで通りにFAXのやり取り、役場庁舎、桜が丘の証明書等自動交付機は、新機種に交換しマイナンバーカードのみの対応となる。役場窓口は、今まで通り印鑑登録証でも発行できる。

【賛成多数可決】

令和2年度の予算編成に 事務事業評価の改善意見の反映を求める!!

各事務事業を、必要性・公共性・費用対効果・成果の4項目（各項目25点満点合計100点）で評価しました。評価した結果を、町長に提出し改善を求めました。

観光推進事業

評価理由・課題

- 観光事業を通して、交流人口の拡大、学研都市精華町の知名度向上と活性化、経済効果の拡大を行うことから、必要性は非常に高い。
- 必要度が高いわりに、予算が少なく目に見える効果も少ない。
- 観光の情報発信は、観光事業の必要性の観点から見れば弱い。

評価点

必要性 21点 公共性 15点
費用対効果 11点 成果 10点
合計点 57点

改善意見（委員会の意見）

- 予算増と事業の拡充を含めて、学研都市らしい観光事業を展開して、目に見える成果をあげる。
- イチゴ観光農園等のイチゴ関係観光事業、スイーツタウンと観光スポットに係る観光事業は、引き続き積極的に展開すること。
- 観光ポータルサイトの更なる充実と学研都市に相応しい情報発信に努めること。



桜並木の散歩道

山田川に沿ってできた桜並木。このさんぽコースでは、約800mの桜並木が続く。全体ではもっと長く、乾谷橋の西の川岸でも桜が咲く。山田川堤から見れば丘の桜風景も美しい。

春は桜がキレイ!夏の川べりは気持ちいいよ



空き家対策事業



評価理由・課題

- これから課題が顕在化していく空き家対策の必要性は高い。
- 職員での外観目視による実態調査等の努力は評価できるが、効果ある対応、早期対応という点では課題がある。
- 具体的な対策や、計画が見えてこない。

評価点

必要性 21点 公共性 15点
費用対効果 10点 成果 14点
合計点 60点

改善意見（委員会の意見）

- 空き家の適正管理と、空き家を活用する施策を講じること。
- 空き家対策に向けての計画の策定や条例制定を急ぐこと。

奨学金給付事業

評価理由・課題

- 教育を受ける権利（教育の機会均等）を保障することの一環として、経済的な支援を必要とする子ども（学生）には、支援をする必要があり、公的機関の役割は大きい。
- 経済的な支援をするには、奨学金としての額が少なく、効果や成果は満足できるものではない。

評価点

必要性 21点 公共性 18点
費用対効果 11点 成果 10点
合計点 61点

改善意見（委員会の意見）

- 子どもの貧困問題等の現状課題と社会状況に照らして、奨学金条例の改善・改正をすること。



～その他、4事業についても評価を行いました。それぞれの改善意見です。～

シルバー人材センター運営事業は

◎公的支援や助成金の使途や課題を明確にすること。

健康づくり推進事業は

◎せいか365健康ポイント事業や各種健康運動事業の効果の検証を行い、医療費の効果を明確にすること。

コミュニティバス実証運行は

◎くるりんバスを利用している人だけでなく、利用していない人、利用できない人を含めて幅広くアンケートや意見を集めて、運行目的にあったよりよい交通手段を提示すること。

◎ルートのみではなく輸送手段等も含めて多面的に考えていくこと。

自治会関係事業は

◎自治会加入率向上に向けて対策を講じること。

◎自治会の必要性や現状を積極的に広報するなどの手立てを講じて、役員のみならず手不足、自治会格差、自治会離れの課題を明確にし、解決すること。

◎自治会長と町政協力員の役割を明らかにし、町政協力員の報酬や役割について再検討すること。

一日でわかる審議結果

12月会議

●賛否の分かれた議案

[○賛成・●反対]

種別	議案名と内容	掲載ページ	討論		結果	精華の会			共産党			爽風会		公明党		せい風会		学研未来			
			賛成	反対		森元	宮崎	岡本	松田	佐々木	柚木	坪井	安宅	山下	森田	村田	内海	今方	山本	青木	塩井
請願	精華町の子どもたちにゆきとどいた教育を求める	P2 P3	✓	✓	不採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	精華町印鑑条例一部改正	P3		✓	可決	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全会一致で可決した議案

人事2件、補正予算4件、条例制定2件、条例一部改正2件、備品取得1件、土地改良事業1件、協定締結1件、意見書1件
※議案の採決は三原議長を除く17人で行いました。

国へ意見書提出

国民健康保険税の国庫負担割合の引き上げを求める意見書

国民健康保険は、被用者保険に加入していない全ての人を対象としているため、所得水準の低い加入者が多く、被保険者の保険税の負担は重いものとなっている。そのため、公費負担の増による保険税の負担軽減を図ることは大きな課題となっており、特に国庫負担の増が求められるとともに、保険税の負担軽減のための支援を行う必要がある。そして、医療保険制度における国の責任を明確にしたうえで、国民皆保険が安定的かつ持続的に運営できるような制度設計に取り組む必要がある。また、国が国庫負担割合の引き上げを含めた財政基盤強化策を一層充実させるなど、適切な措置を講じる必要がある。よって、国民健康保険被保険者の負担軽減に向けて、国庫負担割合の引き上げを強く求めるものである。

お知らせ

■次回、令和元年度定例会3月会議は、令和2年3月2日(月)からはじまります。

3月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は令和2年2月21日(金)午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴しませんか
インターネット中継もご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL:95-1908 FAX:95-3972
<メールアドレス> gikai@town.seika.lg.jp

議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>



「ここが、聞きたい」 一般質問 Q&A

14人の議員が町長・教育長に質問しました。

掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。なお、「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町政や教育委員会などの施策を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
7	町長の狛田地域まちづくりの展望は	安宅 吉昭
7	どうするふるさと納税による住民税減	青木 敏
8	SDGsの取り組みを	宮崎 睦子
8	住民福祉の「扶助費」削減はするな	松田 孝枝
9	防災に関する専門知識を持つ防災士の養成を	今方 晴美
9	校則の見直しを提案する	佐々木雅彦
10	けいはんな新線、新祝園延伸費用は	山本 清悟
10	開橋と煤谷川の危機管理を	坪井 久行
11	合理的配慮の観点で「Net 119緊急通報システム」の導入を	内海富久子
11	子どもの貧困対策に関する町の計画作成は	山下 芳一
12	中学校給食の民間委託方式は問題だ	柚木 弘子
12	ふれあい号の運用は	塩井 幹雄
13	ボランティア活動の見える化を	村田 周子
13	消防本部の統合が必要ではないか	奥野 弘佳



※質問者順に掲載しています。
※は、本文以外の質問事項です。



安宅吉昭議員

Q 町長の 狛田地域まちづくりの展望は

A 駅西整備の方向性を見出す



まちづくり基本構想図（駅周辺）

Q 杉浦新町長は、学研狛田地区の建設促進と一層の企業誘致、狛田駅周辺整備の促進は、「本丸」であるとされている。学研狛田東地区（京阪電鉄不動産用地）は来年度から建設工事が始まるとされ大きな期待がされている。基本的な開発展望は、

A 狛田地域のまちづくりは私の公約である。学研狛田東地区は主に産業施設用地として整備されることで協議している。狛田駅周辺整備は段階的かつ着実に整備していきたい。次なる学研狛田西地区（近鉄用地）の開発促進も見ながら、私の任期中に駅西の整備の方向性を見出していく。



青木 敏議員

Q どうするふるさと納税 による住民税減

A 返礼品グッズを作る

Q 平成30年度の他の自治体へのふるさと納税寄付額は約2億円、全国町村で2番目に多く、実質的な住民税減は約2300万円、この4年間で6千万円の減である。多くの町村はふるさと納税受け入れに積極的であり、ふるさと納税は今後も増え続ける。①対応の具体策は②農業を育てて特産品を返礼品とする計画は③制度を止める方法は、

A ①返礼品グッズを作る資金をクラウドファンディングで集めたが、税の流失分を上回る寄付額を集めるのは難しい②洛

平成30年度ふるさと納税

都道府県	町村	住民税減25%	寄付受入額
1 奈良県	広陵町	23,863,396	31,236,000
2 京都府	精華町	23,134,505	2,617,000
3 神奈川県	葉山町	20,539,454	37,420,000
4 静岡県	長泉町	22,646,934	460,000
5 愛知県	東浦町	22,037,996	206,190,001
6 神奈川県	二宮町	22,042,810	16,912,000
7 広島県	府中町	19,430,104	10,335,804
8 山梨県	忍野村	17,517,459	14,390,900
9 兵庫県	稲美町	14,817,443	33,416,719
10 長野県	軽井沢町	14,610,980	370,203,600

寄付受入額の少ない精華町

Q 平成30年度の他の自治体へのふるさと納税寄付額は約2億円、全国町村で2番目に多く、実質的な住民税減は約2300万円、この4年間で6千万円の減である。多くの町村はふるさと納税受け入れに積極的であり、ふるさと納税は今後も増え続ける。①対応の具体策は②農業を育てて特産品を返礼品とする計画は③制度を止める方法は、

A ①返礼品グッズを作る資金をクラウドファンディングで集めたが、税の流失分を上回る寄付額を集めるのは難しい②洛

Q 煤谷川の水質検査は弾薬庫内に下水道はない。浄化槽を設置して煤谷川に流している。弾薬庫内の雨水なども流れているが、安全か。

A 浄化槽が壊れた場合は連絡がある。法律に基づき適切に管理されていると認識している。

※町長公約、所信表明についても質問しました。



宮崎睦子議員

Q SDGsの取り組みを

A 持続可能性こそ、重要なキーワードになる

Q SDGsとは、持続可能な開発目標の略称であり、国際社会共通の目標である。誰一人取り残されないことを目標とし、先進国と発展途上国が丸と成って達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されている。

来年度から、予算付けにもSDGsの取り組みが大きな評価指針となることを考えると、開発目標を明確にする必要がある。町長は施政方針で、持続可能な開発目標を掲げた持続可能都市づくりを着実に進めると表明。具体的にどの項目に力点を

A SDGsの包括的な理念である持続可能性こそ、今後の学研都市精華町のまちづくりにおける重要なキーワードになると考える。まずは、都市と自然の調和のとれたまちづくり。

また、新市街地と既存地域の格差のないまちづくりを第一義とし、次期総合計画においては、各施策への関連付けを含めて、実現可能な方策を検討していく。



持続可能な開発目標の17項目

Q 住民福祉の「扶助費」削減はするな

A 最大限、向上を図る



松田孝枝議員

Q 現町長は、前町政の継承・発展が公約だ。扶助費の削減はするな。

A 最大限、住民福祉の向上を図っていくのが基本姿勢だ。

Q 学校のトイレ洋式化を

A 洋式化は、快適な学校生活のため優先度は高い。実現への具体化は。

Q 次年度以降、国庫補助金など、資金確保に努め進めていく。

Q 農業支援の具体策は

A 後継者不足など、農業施策の抜本的な見直しが必要だ。

Q 地域ぐるみの課題解決に支援をする。

Q 入札予定価格の積算ミスの対処は

A 9月に積算ミスの指摘があった。判明時の対処のルールはあるのか。

Q 競争性・公平性などの確保が判断基準。透明性を確保し今回は中止しない判断をした。

Q 辞退者が、抽選に参加した事例は。

A 確認間違いで、一件。

Q 会計年度任用職員制度

A 臨時職員に適用される「会計年度任用制度」は。

Q 当事者の意向を尊重し、不利益にならないようにする。



シルバーカーやベビーカーを、公共施設に置いて・・・

Q 防災に関する専門知識を持つ防災士の養成を

A 防災士などリーダーの養成に取り組む



今方晴美議員

Q 防災士養成のための仕組みづくりを。

A 検討する。

Q 災害時常温保存で、そのまま飲める乳児用液体ミルクの備蓄を。

A 家庭で必要物資を備える啓発を行うとともに町でも備蓄に取り組む。

Q 福祉避難所の必要量を確保するための取り組みを。

A 現在、町内7か所で協定を結んでおり、今後福祉人材に協力を求め、2、3か所は協定を結んでいく。

Q 我が家の避難行動を決めておく「マイ・タイ

A ムライン」や地域における危険箇所や避難経路等を集約した「地域防災マップ」の作成など、住民主体の取り組みが進むよう支援すべきでは。

A 新たな防災教育の内容を研究する。

Q ①避難行動要支援者名簿に基づき、個別計画を作成し運用すべきでは

A ①府山城南保健所と連携を密接にすべきでは。共催で、福祉避難所設置運用訓練を予定②情報共有、情報提供を進める。



「じか飲み」ミルクの災害時活用を

Q 校則の見直しを提案する

A 定期的に見直す



佐々木雅彦議員

Q 「下着は白」「他の階のトイレ使用禁止」など生徒の権利にかかわる校則は、そぐわない。生徒や保護者を交えて見直しを求める。

A 定期的に見直す。校則の運用にも留意する。

Q ささいな事故も公表を

A 行政事故は小さくても公表し、みんなが考えることを提案する。

Q 公表基準を定めた

A 生徒に銃を持たせるな

Q 舞鶴海上自衛隊での職場体験で、中学生に武器を扱わせた。銃刀法違反だ。本町にも自衛隊がある。対応を問う。

A 違法な教育活動はさせない。

Q せいか祭りなどで敵を想定した自衛隊の迷彩服での活動は規制すべき

A 支障がないので、規制しない。

Q 選挙の公正性確保を

A 開票機メーカー職員が途中退室するのは問題だ。是正を求める。

Q 選挙管理委員会で検討する。

Q 一秒でも早い出勤を

A 消防本部前の停車禁止と二方向出勤を再度求める。

Q 出勤に支障がないの

A 必要ない。



小さなミスの共有が大切



山本清悟議員

Q けいはんな新線、新祝園延伸費用は

A 概算費用は約570億円 町負担額は試算には至っていない

Q けいはんな新線の新祝園延伸には、軌道施設、駅施設、駅周辺整備に膨大な経費が必要だが、費用総額と町負担は。

A 概算事業費は約570億円。町負担額は整備主体や国庫補助要件などで異なるため、試算するに至っていない。

Q 浸水想定区域毎の訓練

A ハザードマップ浸水想定区域毎の避難シミュレーションと訓練は。

Q 実施訓練も机上訓練もしていない。区域内の自治会や防災会に、浸水想定時の避難訓練の取り入れを要請する。

Q 設備・避難箇所など地域に合った防災訓練を。

A 住民が地区防災計画を作った特色のあるものにする。それに応じて行政は動く。

Q 消防本部の浸水対策の消防自動車の避難は。

A 浸水の可能性を判断して移動する。訓練は実施していない。

Q 子どもの命を守る

A 子ども達の命を守るため、通学路や日常の生活空間の安全対策は。

Q ゾーン30やスクールゾーン、キッズゾーンなど他の規制などが望ましいかを検討する。



子どもの命を守る安全標示 (大津市ホームページより)



内海富久子議員

Q 合理的配慮の観点で「Net119緊急通報システム」の導入を

A 関係機関と調整し、検討する

Q 聴覚・言語機能障害の方々が安心して、いつでも全国どこからでも、スマートフォン、携帯電話のインターネットを利用して、簡単な操作で早く119番通報することができると。本町の考えは。

A 消防庁は、来年度までに導入を目指している。現行の対応は、自宅からの通報に限定される課題がある。通報後もGPS機能を利用し、自宅または災害時の発生場所の指定も可能。利便性の向上を図るため、検討している。



いつでも全国どこからでも通報OK (総務省消防庁ホームページより)

Q 妊娠から子育て支援のさらなる充実を

A 相談者支援プラン作成のスキルアップは。

Q 産後ヘルパー派遣

A 調査結果で特に多胎育児の必要とする支援の一位は家事・育児のサポート。児童虐待や育児不安防止対策の一つのツールとして実施を求めている。

Q 支援者の専門的な知識、経験が必要である。国の動向を見て支援の充実を図る。

Q 開橋と煤谷川の危機管理を

A 府に早急な改修を求める



坪井久行議員



侵食されている開橋の橋脚

Q ①木津川開橋の橋脚の侵食の実態を調査し、対策を②煤谷川の狛田駅より上流部は危機的だ。部分的補強とともに、抜本的改修を③下粕ポンプ場の排水能力向上を④崖崩れ対策強化と正確な情報伝達を。

A ①府は、橋脚の基礎部分の保護ブロックが移動しているが、今のところ、影響がない。安全管理に努める」とのこと②府に、緊急な対応とともに早急な改修を要望する③雨水路整備の一定の目的が立った段階で下粕ポンプ場の排水能力の向上

Q 高卒までの医療無料を

A 高卒卒業までの医療費無料化は負担軽減のために必要ではないか。

Q 単独には現時点では考えていない。

Q 粕田地区が本丸とは

A 新町長が本丸と位置づける学研粕田地区の企業誘致と粕田駅周辺整備との関係は。

Q 下粕駅西側の駅周辺整備は、粕田まちづくり基本構想をもとに、段階的に整備する。

Q 子どもの貧困対策に関する町の計画作成は

A 現時点では、策定する予定はない



山下芳一議員

子供たちの未来のために私たちが今できること。



子どもの未来応援国民運動啓発ポスター

Q 改正子どもの貧困対策推進法が施行され、大綱も閣議決定された。子どもの貧困対策の計画作成努力義務が市町村に課せられた。本町の対応は。

A 児童育成計画や第二期子ども・子育て支援事業に子どもの貧困への対応を盛り込むが、現時点で単独の計画を策定する予定はない。

Q ひとり親家庭に対する適正な対応は。

A 町の実態を踏まえ支援策などを研究する。

Q 妊娠・出産から子どもの社会的自立まで切れ目のない支援が必要だが

Q どうするのか。

A ライフステージに対応した支援を検討する。

Q いろいろな支援制度が、困っている家庭に周知されているのか。

A 教育関係や福祉関係が連携し進めている。新学習指導要領は来年度は小学校、再来年度は中学校で完全移行する。

Q プログラミング、外国語、道徳教育の対応は。

A 先行実施や研修などを行い取り組んでいる。

Q 教科・領域の備品は準備できるのか。

A 予算の範囲内で優先順位を付けて購入する。



柚木弘子議員

Q 中学校給食の民間委託方式は問題だ

A 効率的運営による経費削減効果がある

Q 中学校給食は2022年開始、運営は民間委託方式で検討されているが、決定か。

A 委託では調理員確保や効率的運営による経費削減効果があり、委託で進める考えだ。

Q 現在小学校は町の直営方式だが、評価は。

A おいしい給食と評価され、引き続き続ける。

Q 民間業者には委託料の引き上げや倒産の危険があるが、その検討は。

A 委託費の検討まではできていない。

Q 災害時の対応が大きな問題であるがどうか。

A 小学校給食職員の対応で考えるが、検討する。保育所給食費を無償に10月から、3〜5歳児の保育料が無償化されたが、給食副食費は対象外である。本町では、無償化は考えてない。給食は保育の一環、全国では無償化が広がっている。今後の検討は、保育所の健全運営を考え、保護者からも応分の負担を願いたい。

Q 子育て支援のために0〜2歳児の保育料無償化の考えについては。

A 国が制度設計を行うのを待つ。



みんなと一緒に楽しい保育所 (いけたに保育所より)

Q ボランティア活動の見える化を

A 公共的活動団体の掲載内容の充実に努める



村田周子議員

協働のまちづくりについで

Q 各小学校区単位の「(仮称)コミュニティ協議会」の設立は。

A 現在、設立には至っていない。モデル地区の設定に向け、仕組みづくりに着手したい。

Q 小学校区単位でのコミュニティ拠点の確保は。

A むくのきセンターの多目的ホール(精北)、役場庁舎の交流ホール(川西)、光台近隣センターの精華町コミュニティホール(東光)、かしのき苑のふれあい大ホール(精北)がある。今年一月より、フアイン桜が丘のさくらホール(山田荘)を運用開始する。

ボランティア活動の住民への情報提供

Q ボランティアの公共活動団体数と人数は。

A 約160団体、延べ5千人。

Q 住民へのボランティア活動の周知は。

A 町公式ホームページの公共的活動団体紹介と、精華町ボランティアセンターの登録団体のホームページで周知する。

※防災についても質問しました。



1月より運用を開始したさくらホール (企画調整課より)

Q ふれあい号の運用は

A 当面は大型車1台で運用する



塩井幹雄議員

Q 平成31年4月から1台運用が始まった。大型車のため少人数(10名〜20名)の場合、通行料、駐車場確保などの観点から利用できないケースがあるが、ふれあい号の利用状況は。

A 上半期の運行日数は94日で、昨年度より13日増加している。

Q 1台運用での課題、問題点は。

A 2台運用から1台運用になって、事業が重複し、希望日に使用できないことが発生するので、貸し切りバスの活用を検討する。今年度は2件あった。また運行計画を立てる際には、目的地の選定に注意をはらっていく。

Q ETCの利用は。

A 早急に町の法人カードを取得して、年明けから運用する予定だ。

Q 今後の方針は。

A バス運転手の不足などもあり、当面は1台で運用していく。マイクロバスの運用が必要な場合は、貸し切りバスを利用したり、10名乗車可能な公用車も用意する。



ラッピングされたふれあい号 (企画調整課より)

Q 消防本部の統合が必要ではないか

A 統合・広域化は考えていない



奥野弘佳議員

Q 府では、2009年に消防体制の整備推進計画を策定し、検討してきた。しかし統合や広域化については具体的な進捗はない。本町の消防の強化策として、平成27年度庁舎建て替え、消防デジタル化や指令システムの整備をしてきた。消防力の充実と強化のため本部の統合が必要ではないか。

A 大規模災害時において、近隣市町村の相互応援協定に基づき災害対応するなど、消防防災活動の充実強化を図っているので、統合や広域化は考えていない。

Q 管内には中高層建築物があるが、はしご車の配備は。

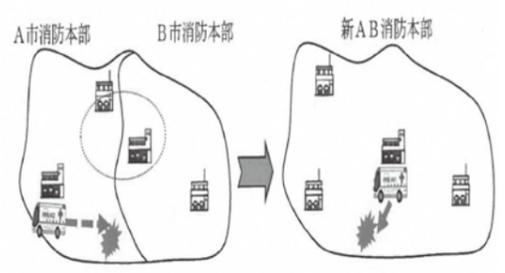
A 本町では、火災予防条例のなかにスプリンクラーの設置義務があり、火災が発生した場合は自動で消火できる建築物となっている。

Q 桜が丘や柘榴地区への緊急車両の到着に時間がかかる。相楽中部消防への出動要請は。

A 応援協定はあるが、消防署が近いだけでは要請できない。

※指令センターやデジタル無線の広域化についても質問しました。

○管轄区域全体を見渡した署所の適切配置が可能に。
○指令の一本化により、直近の車両が現場直行が可能に。



消防広域化(到着時間短縮) (総務省消防庁ホームページより)